

市政のここがききたい

3月定例会では15人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。

ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

〔八街市ホームページに一般質問の項目を掲載してあります。〕
<http://www.city.yachimata.chiba.jp/>

五日会

林 義雄
林 政男

代表
質問 林 政男

◆児童、生徒の安全対策について

問 何故防犯ブザーを持たせないのか。

教育長 防犯ブザー等の機器に頼ることなく、自分の身は自分で守るという基本に立って、子供さんたちの危機管理意識を高め、状況に応じた対応がとれるようにすることが真の意味での危機管理だと考えています。

問 学校への侵入者、不審者対策は。

教育長 対策としては、「危機管理マニュアル」をもとに、各学校の実態に応じた独自の危機管理マニュアルを作成し全職員に周知し、校門を必要以外閉めておくことや、校内への訪問者には玄関で名札の着用を求めています。また、不審者が侵入した場合に備え、全教室に防犯ブザーを設置しており、各学校には最低年に

3回、地震、火災そして不審者からの避難訓練を実施するよう指導しています。さらには、子供さんたちの緊急時に備え、年度初めに心肺蘇生法実技講習を全職員に実施し、その対策を講じています。

問 登下校及び放課後の対策は。

教育長 下校時はできるだけ複数で帰ること。万が一、不審者に遭ったときは、「子ども110番の家」に駆け込むことや、大声を出し、助けを求めることなど、具体的な場面を想定して指導をしています。

◆平成16年度予算について

問 特色は何か。

市長 現下の社会経済環境と本市の厳しい財政状況を踏まえ、予算全般について節減合理化を推進するという基本的姿勢に立ち、限られた財源を重点的、効果的に配分することに努め、全体としては歳入に見合った規模の通年型予算として編成しました。

問 公債比率が前年7.1%から14・1%になっているが

市長 今後の推移はどうか。平成17年度の公債費

は、16年度公債費と比べて、概ね15%程度増加する見込みで、経費の節減合理化を図りながら引き続き持続可能な財政運営に努めます。

問 普通建設事業の単独分前年比40・2%減になっているが市民生活にあたる影響は。

市長 この主な理由は、クリーンセンター建設事業費や中央グラウンド用地購入等が減となったことによるもので、これらを除くと単独事業は前年度と比較して約2億2千万円、5.0%の減となります。道路維持補修事業費、防犯灯設置事業などの市民生活に密着した分野は、予算を前年度比で増額し、充実を図ったところであり、単独事業の減が市民生活に与える影響はないと考えています。

◆市民サービスについて

問 日曜日に印鑑証明、住民票をとれないか。

市長 市役所内に設置している自動交付機は、土曜日にも稼動し、住民票と印鑑証明書を取得することができ、市民の方からも自動交付機の日曜日稼動を望む声もあるので、検討課題

を整理した上で、できるだけ早期に稼動したい。

◆公共施設の弾力的運用を

問 学校の開放を進めるべき。(児童クラブの併用を)

教育長 今後はこれまでの体育館、運動場、プール、武道場等の施設開放の実績を踏まえ、その成果と課題を明らかにしつつ、生涯学習社会に対応した学校開放のあり方を検討することが非常に重要と考えています。

問 老人施設の名称変更を。

市長 長年にわたり国民並びに市民に親しまれていることや県内の老人福祉センターと老人憩いの家の約70%の名称に「老人」という言葉が使用されている現状です。名称の変更は今後の検討課題としたい。

◆駅前開発と次期総合計画について

問 八街中学校の移転について。(庁舎敷地の拡大を次期総合計画に。中学校用地の拡大を次期総合計画に。公認野球場の新設を次期総合計画に。)

市長 八街中学校をもっと広い敷地に移転し、教育環

境を充実させるとともに、その跡地を公共用地として確保し、市役所の敷地の拡大や野球場の整備をしてはということですが、現段階で八街中学校の移転は考えていません。しかし、教育施設の整備やスポーツ施設の整備は、長期的な展望から重要課題であると認識し、特に野球場は次期総合計画の中で検討したい。

問 農協前踏切の改良について。

市長 周辺道路の状況や建築物、施設等の状況から高架式または地下式にするとは不可能ですが、歩行者の安全確保を考え、踏切幅や歩行者専用部分の設置等JＲと協議したい。



▲八街西街道踏切